

施策評価表

平成29年度分

① 施策コード	2・2・1					
② 施策名	元氣と生きがいづくりを応援する体制の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	元気高齢者の割合			-	-	□
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0%）や宮城県（22.3%）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。 ◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。 ◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。 ◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。 	施策の内容	高齢者の健診を行うとともに、介護や支援が必要とならないよう介護予防のための教室等を開催し、健康の維持増進を図ります。また、高齢者の創作活動の拠点施設である「高齢者生産活動センター」の運営や就業と生きがい活動への支援を行うことにより、高齢者の積極的な社会参加による生きがいづくりを推進します。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
丸森町シルバー人材センター会員数	人	157		170	170	170	160	
			159	158	157			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度	30年度(計画)	31年度(計画)
	34,860	509	32,361	49,959	50,567

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健康診査について、周知徹底できて追加申し込みにつながった。 ・高齢者結核予防事業について、保健センター等で集団健診を実施した。肺がんCTも実施した。 ・シルバー人材センター支援について、会員数は横ばいであるが、請負量が増加しており成果は上がってきている。 ・高齢者いきいき活動支援について、老人クラブ活動助成と敬老祝い金支給により、生きがい対策や介護予防対策を行なった。 ・一般介護予防について、健康教室、元気アップ講座及び出前講座等を活用して継続的な正しい知識の普及啓発を実施した。
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健康診査について、治療に必要な検査のほかに、健康診査が必要なことの啓発活動、広報に努めたい。 ・高齢者結核予防事業について、未把握者対策に力を入れ、未受診理由の特定を徹底する。 ・シルバー人材センターについて、会員確保のため募集等について支援する。 ・高齢者いきいき活動支援について、活動事業補助金についての内容と敬老祝い金の対象者・金額の検討を行う。 ・一般介護予防について、対象者増加による支援側の体制整備についての検討を行う。
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】